

# 調査団報告書

調査No. 8

## 調査内容

東山動物園で飼育されているゴリラが、ショーをしていたって聞いたけどほんと？

## 調査手順

動物園で飼育されている動物がショーをするなんて…と思いながら、書棚にあった『東山動物園公認ガイドブック』の「東山動物園の主な歴史」のページを見してみる。あった！本当だ！「昭和34年にアフリカからゴリラ3頭が来園。後にゴリラショーが人気を集める」とある。『東山動物園日記』p16～18には当時の記録がまとめられている。来園から半年後にインフルエンザにかかったゴリラたち。飼育員の浅井カ三さんは何とか薬を飲ませようと訓練した。ゴリラの芸はここから始まったといえるのだそうだ。

ゴリラを育て長生きさせるために、規則正しい日常生活を習慣づけようとしての訓練で、飼育者への信頼と服従をしっかりと覚えこませるためだったのだ。浅井さんは、「芸はおまけみたいなものだった」と回想している。『ゴリラを育てる』には、当時のカラー写真もあり、昭和34年9月から42年1月までの飼育日誌から抜粋した「成長の記録」の記載もある。

## 調査結果

昭和34年、東山動物園にアフリカからやってきた3頭のゴリラ、「ゴン太」「オキ」「プッピー」は、ショーをしていた。ラッパを吹いたり、モンキーダンスをしたり18種類の芸を覚えたそうだ。来園した時は1～2歳だったゴリラも大きくなるにつれ乱暴になり、昭和43年6月にショーは中止となった。

おまけ:平成22年12月30日に、「オキ」が老衰のため53歳で亡くなった。

浅井さんの願いどおり、とても長生きだった。

おまけ2:子ども向けの本で『ゴリラのボスになったカ三さん』も読んでみて。

今回の調査で使った資料

『ず〜っといっしょ 東山動物園公認ガイドブック』

東山動物園クラブ／編 中日新聞社 2012年

『東山動物園日記』朝日新聞社名古屋本社社会部／著  
ペップ出版 1977年

『ゴリラを育てる』浅井カ三／著 毎日新聞社 1967年

『ゴリラのボスになったカ三さん』綾野まさる／作 ハート出版 2002年

